



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社 朝日ラバー

上場取引所 東

コード番号 5162 URL <http://www.asahi-rubber.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田崎 益次

TEL 048-650-6051

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日

配当支払開始予定日

平成29年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 3,608 | 17.0 | 269 | 38.3 | 282 | 46.2 | 183 | 24.2 |
| 29年3月期第2四半期 | 3,083 | 6.4 | 194 | 157.1 | 193 | 193.9 | 147 | 217.8 |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 208百万円 (221.6%) 29年3月期第2四半期 64百万円 (28.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 40.67 | |
| 29年3月期第2四半期 | 32.91 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 9,882 | 4,026 | 40.7 | 893.78 |
| 29年3月期 | 9,914 | 3,869 | 39.0 | 860.48 |

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,026百万円 29年3月期 3,869百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | | 3.00 | | 13.00 | 16.00 |
| 30年3月期 | | 6.00 | | | |
| 30年3月期(予想) | | | | 10.00 | 16.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 7,321 | 12.4 | 539 | 13.3 | 533 | 8.7 | 372 | 9.0 | 82.56 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 30年3月期2Q | 4,618,520 株 | 29年3月期 | 4,618,520 株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 30年3月期2Q | 112,972 株 | 29年3月期 | 122,172 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 30年3月期2Q | 4,501,381 株 | 29年3月期2Q | 4,479,641 株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

なお、上記予想値に関する事項は添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、2020年を見据えたビジョン「AR-2020 VISION」を策定し、平成29年4月から第12次中期経営計画「V-2計画」をスタートしております。中期経営方針として「AR-2020 VISIONに通ずる質的成長を求めて広く社会に貢献する」を掲げ、継続的な成長を可能にする強固な事業基盤を整備し、ゴムの基礎技術と製品力を磨いて質的な成長を目指しております。

重点事業分野を車載・照明、医療・ライフサイエンス、その他の3つとし、車載・照明分野では感性認知支援領域における製品開発に注力し、そして医療・ライフサイエンス分野ではウェアラブル領域における製品開発を開始いたしました。これからも引き続きゴムの持つ可能性を追求し、それぞれの競争力の源泉となる他社に真似のできない独自のコア技術を磨き、市場やお客様に満足いただける製品開発を推進してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は36億8百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。利益面では、販売の増加、原価低減活動の継続実施等により連結営業利益は2億6千9百万円（前年同四半期比38.3%増）、連結経常利益は2億8千2百万円（前年同四半期比46.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億8千3百万円（前年同四半期比24.2%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、ASA COLOR LEDをはじめとした自動車関連製品の受注が海外向けを中心に引き続き好調に推移いたしました。また、スポーツ用ゴム製品である卓球ラケット用ラバーにおいては新製品の投入による販売増加及び既存製品の受注も堅調に増加、そしてRFIDタグ用ゴム製品も引き続き受注が好調に増加いたしました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は30億1千6百万円（前年同四半期比20.6%増）となりました。またセグメント利益は3億2千2百万円（前年同四半期比52.6%増）となりました。

医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、第2四半期より採血用・薬液混注用ゴム栓の既存品の受注が減少傾向であるものの、新機種の受注は引き続き好調で販売が増加いたしました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は5億9千2百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。セグメント利益は売上製品構成の変化等により9千7百万円（前年同四半期比19.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて3千1百万円減少し、98億8千2百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて1億8千9百万円減少し、58億5千5百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の減少によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて1億5千7百万円増加し、40億2千6百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて9千1百万円増加の9億4千2百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは3億7千2百万円の収入（前年同四半期は4億6千9百万円の収入）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益2億6千万円（前年同四半期は1億9千2百万円）、減価償却費1億9千9百万円（前年同四半期は2億1百万円）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億9千6百万円の支出（前年同四半期は5億4千万円の支出）となりました。

これは主に定期預金の払戻による収入16億5千9百万円（前年同四半期は15億7千9百万円の収入）があったものの、定期預金の預入による支出16億7千1百万円（前年同四半期は16億9百万円の支出）、有形固定資産の取得による支出2億2千9百万円（前年同四半期は5億3千3百万円の支出）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは4億1千4百万円の支出(前年同四半期は1億6千6百万円の収入)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入5億円(前年同四半期は5億円の収入)があったものの、短期借入金の減少額3億3百万円(前年同四半期は3億円の増加)、長期借入金の返済による支出5億5千5百万円(前年同四半期は5億9千7百万円の支出)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月8日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,982,419 | 2,650,035 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,732,717 | 1,722,066 |
| 電子記録債権 | 128,044 | 231,385 |
| 商品及び製品 | 198,535 | 235,571 |
| 仕掛品 | 286,643 | 311,524 |
| 原材料及び貯蔵品 | 125,290 | 124,840 |
| その他 | 185,551 | 137,757 |
| 貸倒引当金 | △1,795 | △1,731 |
| 流動資産合計 | 5,637,406 | 5,411,449 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,252,138 | 1,223,617 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,139,207 | 1,243,103 |
| 土地 | 886,216 | 886,216 |
| その他(純額) | 174,696 | 181,920 |
| 有形固定資産合計 | 3,452,259 | 3,534,858 |
| 無形固定資産 | 36,335 | 81,063 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 791,688 | 858,525 |
| 貸倒引当金 | △3,422 | △3,422 |
| 投資その他の資産合計 | 788,266 | 855,103 |
| 固定資産合計 | 4,276,862 | 4,471,025 |
| 資産合計 | 9,914,268 | 9,882,475 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 488,584 | 440,829 |
| 電子記録債務 | 779,512 | 813,188 |
| 短期借入金 | 303,687 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,074,531 | 1,082,237 |
| 未払法人税等 | 68,363 | 81,579 |
| その他 | 491,346 | 650,419 |
| 流動負債合計 | 3,206,025 | 3,068,254 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,136,351 | 2,073,097 |
| 役員退職慰労引当金 | 91,722 | 91,722 |
| 退職給付に係る負債 | 577,528 | 594,451 |
| その他 | 33,623 | 27,991 |
| 固定負債合計 | 2,839,225 | 2,787,262 |
| 負債合計 | 6,045,250 | 5,855,516 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 516,870 | 516,870 |
| 資本剰余金 | 457,970 | 457,970 |
| 利益剰余金 | 2,770,284 | 2,894,256 |
| 自己株式 | △92,543 | △84,143 |
| 株主資本合計 | 3,652,581 | 3,784,952 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 150,647 | 191,730 |
| 為替換算調整勘定 | 65,789 | 50,274 |
| その他の包括利益累計額合計 | 216,436 | 242,005 |
| 純資産合計 | 3,869,017 | 4,026,958 |
| 負債純資産合計 | 9,914,268 | 9,882,475 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 3,083,196 | 3,608,556 |
| 売上原価 | 2,256,872 | 2,678,047 |
| 売上総利益 | 826,324 | 930,508 |
| 販売費及び一般管理費 | 631,435 | 661,005 |
| 営業利益 | 194,889 | 269,503 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 688 | 1,208 |
| 受取配当金 | 3,431 | 3,445 |
| 雑収入 | 13,528 | 18,662 |
| 営業外収益合計 | 17,648 | 23,316 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,217 | 6,514 |
| 為替差損 | 6,695 | — |
| コミットメントフィー | 3,487 | 2,402 |
| 雑支出 | 1,921 | 1,424 |
| 営業外費用合計 | 19,321 | 10,342 |
| 経常利益 | 193,216 | 282,477 |
| 特別利益 | | |
| 補助金収入 | 16,050 | — |
| 特別利益合計 | 16,050 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,043 | 7,805 |
| 固定資産圧縮損 | 14,470 | — |
| 減損損失 | — | 14,451 |
| 特別損失合計 | 16,513 | 22,256 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 192,752 | 260,220 |
| 法人税等 | 45,337 | 77,130 |
| 四半期純利益 | 147,414 | 183,090 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 147,414 | 183,090 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 147,414 | 183,090 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,969 | 41,083 |
| 為替換算調整勘定 | △88,494 | △15,514 |
| その他の包括利益合計 | △82,525 | 25,569 |
| 四半期包括利益 | 64,889 | 208,659 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 64,889 | 208,659 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 192,752 | 260,220 |
| 減価償却費 | 201,785 | 199,128 |
| 減損損失 | — | 14,451 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 31 | △58 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △19,191 | — |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 9,923 | 17,071 |
| 受取利息及び受取配当金 | △4,119 | △4,653 |
| 未払配当金除斥益 | △115 | △155 |
| 支払利息 | 7,217 | 6,514 |
| 為替差損益 (△は益) | 19,328 | △343 |
| 有形固定資産除却損 | 2,043 | 7,805 |
| 固定資産圧縮損 | 14,470 | — |
| 複合金融商品評価損益 (△は益) | 68 | △1,906 |
| 受取保険金 | △2,995 | △163 |
| 補助金収入 | △16,786 | △3,056 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △49,058 | △95,544 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △142,733 | △62,864 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 204,119 | △16,196 |
| 未収消費税等の増減額 (△は増加) | — | 67,799 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △6,579 | 28,037 |
| その他 | △28,711 | 10,290 |
| 小計 | 381,449 | 426,375 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,014 | 4,760 |
| 補助金の受取額 | 16,786 | 3,056 |
| 保険金の受取額 | 2,995 | 163 |
| 利息の支払額 | △8,268 | △5,691 |
| 法人税等の還付額 | 85,016 | 799 |
| 法人税等の支払額 | △12,574 | △56,684 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 469,418 | 372,778 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,609,345 | △1,671,668 |
| 定期預金の払戻による収入 | 1,579,132 | 1,659,277 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △533,874 | △229,195 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △3,990 | △23,311 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △976 | △23,751 |
| 保険積立金の解約による収入 | 37,756 | — |
| その他 | △9,300 | △7,544 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △540,599 | △296,194 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 300,000 | △303,599 |
| 長期借入れによる収入 | 500,000 | 500,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △597,485 | △555,548 |
| 配当金の支払額 | △44,735 | △57,863 |
| 自己株式の売却による収入 | 14,362 | 8,399 |
| その他 | △5,592 | △5,515 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 166,549 | △414,127 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △55,929 | △6,308 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 39,439 | △343,851 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 812,109 | 1,286,614 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 851,548 | 942,762 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 工業用ゴム 事業 | 医療・衛生用ゴム 事業 | 合計 |
|-------------------|-------------|----------------|-----------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,501,410 | 581,785 | 3,083,196 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 2,501,410 | 581,785 | 3,083,196 |
| セグメント利益 | 211,427 | 120,611 | 332,039 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

| 利益 | 金額（千円） |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 332,039 |
| 全社費用（注） | △137,149 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 194,889 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 工業用ゴム 事業 | 医療・衛生用ゴム 事業 | 合計 |
|-------------------|-------------|----------------|-----------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,016,302 | 592,253 | 3,608,556 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 3,016,302 | 592,253 | 3,608,556 |
| セグメント利益 | 322,632 | 97,043 | 419,676 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

| 利益 | 金額（千円） |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 419,676 |
| 全社費用（注） | △150,173 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 269,503 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「工業用ゴム事業」セグメントにおいて、事業環境の変化により遊休状態になった製造設備について帳簿価額全額を減額しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては14,451千円であります。その内訳は、機械装置であります。